

地域人材ネット

会議の「見える化」で参加型の取り組みをすすめるファシリテーター

畠中智子 (はたけなかともこ)

株式会社わらびの 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

高知市

略歴

1992年住民参加のまちづくりについて活動する市民団体「高知のまちづくりを考える会」発足、代表となる。1994年全国初となるワークショップの情報交流会「わくわくワークショップ交流会」を開催、海外も含め全国から約400人が集まり、まちづくりワークショップのエポックを切り開いた。1996年に自治省の呼びかけで47都道府県ごとに誕生した地域づくり協議会のひとつ「こうち元気者交流会」初代表となる。2000年度に開催された「第14回全国地域づくり団体交流会・高知大会」実行委員長を務める。1998年～「土佐熱烈観察団」、2007年～「とさ金」（ともにNHK高知放送局）、2011年～「四国のいいぶん」（NHK松山放送局）などにメインキャスターやコメンテーターとしてレギュラー出演。2012年ワークショップの企画・運営などを主とする「株式会社わらびの」を設立、代表となる。

著書・論文等

ファシリテーション研修テキスト「つぶやきの育て方Ⅱ」／（「つぶやきの育て方」絶版）

○ 会議の「見える化」で参加型の取り組みをすすめるファシリテーター

取組の内容

地域住民が主体となって活動を生む、生産者らとともに新商品を開発する、事業者や利用者が共に関わりながら道の駅を計画するなど、参加型の場面においてワークショップを企画し運営している。特に、「会議の見える化」をはかるファシリテーショングラフィックについては高い評価を得ており、全国各地から研修などの依頼も受けている。リモートでの開催経験もあり。

実績

約10年に及ぶ取り組みとなった「赤岡町のまちづくり」を始まりに、しくみづくりや施設計画、また大間・能登・伊豆・熊野・都城など全国各地での商品開発など数えきれないほどのワークショップ件数を経験してきました。また市町村アカデミーや自治大学校、各地の自治体において職員らを対象に数えきれないほどのファシリテーション研修を行なってきました。

工夫した点や苦勞した点

30年のワークショップ経験のなかには様々なケースがあり、ひとつひとつの「うまくいったこと・いかなかったこと」を取り組みに活かしています。

ひとことPR

ワークショップを初めて経験する方も、子どもも高齢者も、男性も女性も、誰もが気楽につぶやけるような場作りを心がけています。そして話し合った目標を「実現」できる計画をすすめています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
○ その他 <small>会議の見える化を目的としたファシリテーショングラフィック</small>	

関連ホームページ

株式会社わらびの	https://waravino.com/

連絡先

メールアドレス	tomoco0512yfs [アットマーク] gmail.com		
---------	----------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。